

美郷バレー・山くじらフォーラム 2026 概要

美郷バレー テーマ：共創から協創へ ～外部の多様な人材を巻き込む・つながる・・・広がるバレーの輪～

●主催：美郷町・おち山くじら研究所

●協賛：広島大学(申請)、麻布大学、西日本旅客鉄道(株)、広島広域都市圏鳥獣対策部会、タイガー(株)、テザック、邑智郡森林組合、JAしまね (協賛)

【9月30日(水) フォーラム1日目】 1日目テーマ：人と野生動物のすみ分け(共生) 旧三江線実証試験の取組み

□ホール展示・販売・商談(獣害対策、ジビエ等利活用、バレー協定企業団体展示・・・(株)テザック、タイガー(株)、青空クラフト ほか)

■開会式：13時10分 主催者あいさつ 美郷町 嘉戸町長

1. 旧三江線・森林再生実証試験について

西日本旅客鉄道株式会社

(森林再生・野生動物対策から持続可能な地域づくり) ビジネスデザイン部 JCLaaS 課長 後藤田育司 氏・地域共生部 課長 槇 健 氏

2. 美郷町で、美郷町に学ぶ野生動物との棲み分けー空気中の環境DNA(eDNAir)で野生動物の生息と生態を探るー

広島大学大学院 統合生命科学研究科 教授 西堀 正英 氏

3. ドローン及び赤外線付きカメラによる森林の鳥獣被害防止対策実施試験について(報告)

(JR 西日本鉄道林の再造林地の赤外線付きカメラとドローン試験報告) タイガー(株) 顧問 野田 浩 氏

4. 質疑応答(講演者3名 登壇)

■ジビエのゆうべ(17時30分～)

テーマ：ジビエのまち・美郷町

※2日目のテーマの前夜祭

会場：たまりば 邑(むら) イノシシ・シカ利活用 意見交換会 ※会費制

内容：ジビエのまち紹介 町内ジビエ料理、クラフトなど紹介

【10月1日(木) フォーラム2日目】 2日テーマ：イノシシの豚熱による家畜防疫と鳥獣対策、ジビエ利活用

□ホール展示・販売(獣害対策、ジビエ等利活用、バレー協定企業団体展示)

《開始：10時00分～》

1. イノシシの豚熱対策とジビエ利用の両立を目指して

島根県農林水産部参事(兼畜産課) 加地紀之 氏

2. 山くじらフォーラムにおける学生の地域課題研究発表会

・発表者：高校生、広島大学 大学生・大学院生

・モデレーター： 広島大学大学院 教授 西堀 正英 氏

《午後：13時30分～》

3. 野生イノシシコンソにおける麻布大学フィールドワークセンターの役割

麻布大学生命環境科学部教授 江口祐輔 氏

4. 鳥獣被害対策(入口)から村おこし(出口)を ～ピンチをチャンスに～ タイガー(株) 取締役 小林一木 氏

・ 獣害対策(きやらバン) → 捕獲組織(担い手の問題) → 豚熱対策 → クマ問題(認定鳥獣) → 地域づくり(雇用・たまりば・飲食連携)等
・ テーマとの関連 ～外部の多様な人材を巻き込む・つながる・・・広がるバレーの輪～

5. 質疑応答(講演者3名 登壇)

【10月2日(金) フォーラム3日目(午前中)】 最終日テーマ：獣害対策を通じた地域コミュニティ

鳥獣被害対策から村おこしを ～全ての取組みは住民の主体性から～ ... 取組実践事例の紹介

■現地研修(美郷町都賀行) 都賀行公民館及び現地

“雅ねえ”こと獣害研究家 井上雅央 氏、都賀公民館 副館長 布元明子 氏